

製品名: N-カドヘリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14435**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH2
別名	CDH2; CDHN; NCAD; Cadherin-2; CDw325; Neural cadherin; N-cadherin; CD antigen CD325
遺伝子 ID	1000.0
SwissProt ID	P19022
免疫原	抗血清はヒト CDH2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 721-770

背景

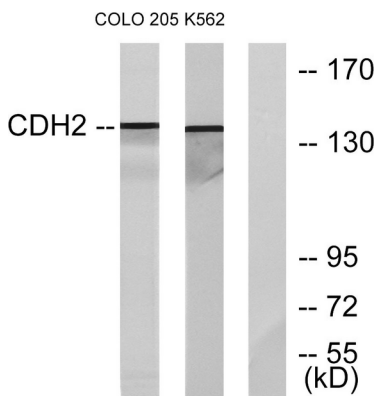
この遺伝子は古典的なカドヘリンをコードし、カドヘリンスーパーファミリーの一員です。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つはプレプロタンパク質をコードします。プレプロタンパク質はタンパク質分解によ

てカルシウム依存性細胞接着分子と糖タンパク質を生成します。このタンパク質は、左右非対称性の確立、神経系の発達、軟骨および骨の形成に役割を果たします。[RefSeq 提供、2015年11月],機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞を接着する際に、カドヘリンは互いに同種親和的に相互作用するため、異種細胞の選別に貢献している可能性があります。CDH2は神経細胞の認識機構に関与している可能性があります。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含みます。サブユニット: CDCP1と相互作用します。、

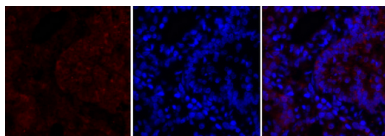
研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;不整脈性右室心筋症 (ARVC) ;

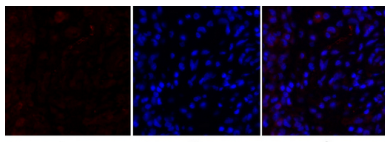
画像データ



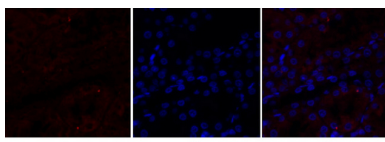
COLO205 細胞および K562 細胞のライセートを CDH2 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



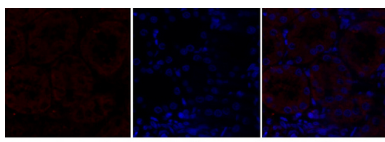
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



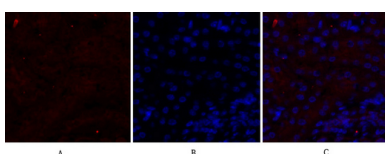
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



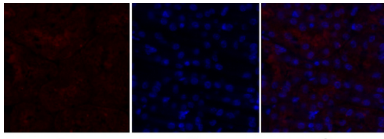
ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



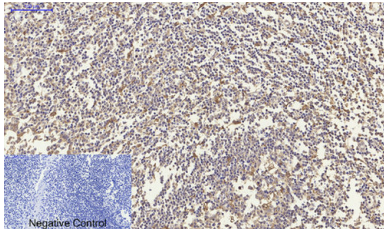
ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



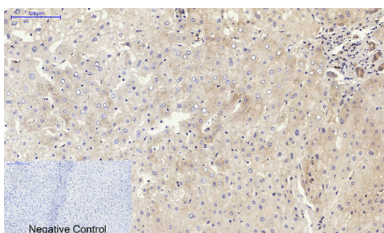
マウス腎臓組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



マウス腎臓組織の免疫蛍光染色。1, N-カドヘリンポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学染色。1. N-カドヘリンポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学染色。1. N-カドヘリンポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。